

令和2年度 3学期始業式あいさつ

皆さん、あけましておめでとうございます。

例年より少し早いですが、今日から1年のまとめの3学期が始まります。

皆さんも新しい年を迎えて、気持ちを新たに登校してきたと思います。

今日は、私が前に講演を聴いて共感した、大阪を代表する食文化であるお好み焼きの有名店「千房」の創業者 中井 政嗣さんの話をしたいと思います。

中井社長は、奈良県出身で中学校卒業と同時に乾物屋に奉公にでて、苦勞の末、28歳で大阪ミナミ千日前にお好み焼き専門店「千房」を開店しました。今では海外事業も展開し、年商60億円を超える千房グループの代表取締役ですが、働きながら40歳になる前に高校に入学し、大阪府立桃谷高校を卒業したという苦学生でした。2009年には、知人から受刑者の就労支援を持ちかけられ、全国で初めて刑務所で社員募集の面接をして、これまで20人以上を採用しています。会社では、このプロジェクトに参加するにあたって、「飲食業は人気商売なのに、お客さんが怖がって来てくれない」という反対意見もあったそうです。しかし、中井社長は「だれのおかげでここまで来たんや、いろんな人に支えられて今がある。経営も教育もマラソンではなく駅伝や、自分がしてもらったことを次にバトンタッチしやなあかん」と言って、心を決めてこの事業に参加したそうです。また、少年院での講演会の際には、受刑者から「なぜ罪を犯した自分たちを「千房」が雇ってくれるのか」と聞かれ、「また同じことをやるつもりか」「人は過去を変えることはできないけれど、自分と未来は変えることができるんや」と大声で叱ったそうです。その質問した受刑者は、大粒の涙を流していたとのことでした。

中井社長は、「成功している人には「いい人との出逢い」、「運がいい」という2つの共通項がある。運は一人のものだけれど、出逢いは縁であり、運のいい人は出逢い、縁を大事にしている。」と語っていました。

「出逢いを大切に」「自分と未来は変えることができる」、そして「未来が変われば過去も変わる」。これは私たちも学ぶべき大切な教訓です。

3学期は、新しい出逢いと未来に向かって頑張る時期です。

3年生の皆さんは、約10日後、大学入学共通テストがあります。体調管理に十分気を付けて、今まで自分が頑張ってきたことを信じて臨んでください。個別試験まで諦めずに、最後まで努力を続けてください。そして、卒業まであと少しですが、畷高の伝統というバトンを1、2年生にしっかりと渡してください。

1、2年生は、4月には後輩が入学してきます。階段を一段上がるという自覚と責任をもって3学期に臨んでください。特に2年生にとっては、3学期は進路実現につながる3年生の0学期です。良いスタートが切れるように頑張ってください。

近々首都圏には緊急事態宣言が発出される予定です。大阪府は対象外ですが、大阪でも感染者数の高止まりが続いています。マスクの着用、手指消毒はもちろん、マスクを外しての対面での会話、食事を避けるなど、感染防止に努めながら、3学期を実りある学期にしましょう。

今年こそ明るい年になりますように、そして、皆さん一人一人の頑張りを期待して、3学期の始業式のあいさつとします。